



▲ 陶芸は、かなり重労働な職業と実感する生徒たち。(八見窯にて)



▲ 仕事の分担、段取りなどの指導を八見さんから教わる生徒たち。



▲ 職場体験学習から数日後、窯から出された自分たちの湯呑と初めてのご対面。形、色合いと自分たちで初めて作った焼き物の出来栄えに大満足の生徒たち。

でも気を抜くと窯の温度がさがり、焼き物に影響するので集中が求められました。また、作品の出来具合や、手際よく仕事ができるようになるまでには、年数と、何度も何度も様々な経験を積むことが必要な仕事だと分かりました。

職業 陶芸家



生徒体験記

薪割り、土作り、道具の管理、陶器の制作、窯への火入れ後の十数時間にも及ぶ窯の番など、この仕事の大変さがよく分かりました。

特に窯の番では、炎の暑さもさることながら、数分



▲ 良くしてくれてうれしいと語る白藤の苑入所者の方と生徒。



▲ 生徒が書いたイラストと一緒に色を付ける作業をする入所者の方。



▲ 楽しくおしゃべりしながら、イベント出し物用の小道具を作る明日香園入所者の方々と生徒。

きちんと話を聞くこと、相手を思いやることができないと、難しい仕事だということがわかりました。

職業 介護福祉士



生徒体験記

人に喜ばれ、人の役に立ちたいと、今回の職場体験では、介護や福祉の現場の仕事に応募しました。

この仕事で一番大切なのは常にコミュニケーションをとり続けることだと思います。どうしたいのか、どうして欲しいのかと、直ぐに相手の気持ちを理解することが要求されます。